

かすみがうら市の春

帆引き船の季節近づき湖上の風光る



霞ヶ浦・帆引き船

霞ヶ浦に挟まれた地から
筑波山に伸びる大地で
春の麗らかさを感じよう。

平成17年、霞ヶ浦に囲まれた霞ヶ浦町とフルーツの里として知られる千代田町が合併して誕生した「かすみがうら市」。春は陽光を浴びて刻々と変化する霞ヶ浦の青と、萌葱色から新緑へ変わりゆく木々、成沢の山桜や歩崎公園など、桜の名所を楽しみたい。

霞ヶ浦の景勝地として、茨城百景にも数えられるのが歩崎。説明板には「霞ヶ浦の土浦入り、三又沖、高浜入りを一望できる位置にある（中略）その景観は県指定第一号の名勝地にふさわしい。」と書かれている。

歩崎公園には帆引き船などの資料がそろった歴史博物館や、霞ヶ浦にすむ魚が見られる水族館、数寄屋造りで茶室と座敷広間のあるあゆみ庵など、多くの施設が整備されている。もちろん、展望台から茨城百景に選ばれた霞ヶ浦の眺望も楽しみたい。

なお、観光帆引き船は、7月下旬から11月下旬の日曜日に、歩崎棧橋又は志戸崎漁港から運行される。ここ数年はカヌーやサップ、湖上サイクリングにキャンプといった様々なイベントも開催されにぎわう。



歩崎公園



成沢の山桜

【写真提供：かすみがうら市】

かすみがうら市春のコース

湖と山に囲まれたかすみがうら市は「果樹のふるさと」とも呼ばれています。フルーツ狩りで摘みだての果物をその場で味わったり、桜の名所や史跡を巡るなどかすみがうら市の「春」を体感してみてください。



名産名品



いちご
ビタミンCがたっぷり含まれており、風邪の予防や美肌効果に最適。12月下旬から5月下旬までいちご園がオープンしています。

A 雪入ふれあいの里



ヤマザクラやヤマツツジ、バードウォッチングなどが楽しめる。自然体験の専門スタッフが常駐しており、各種の体験イベントを開催している。

B 雪入の郷倉



志築藩家老・横手郭広(義忠)が文化9年(1812年)、十五社神境内に設けた3間×2間の義倉(飢饉に備えて穀類を蓄えておく施設)。

C 長興寺



慶長7年(1602年)の開山と伝えられる志築藩の菩提寺。山門、本堂などは市の指定文化財。境内には多くの羅漢像があり、「五百羅漢」と呼ばれる。

D かすみがうら市歴史博物館



歩崎公園の近くにあるお城が目印。館内では帆引き船の模型や帆引き船に関する資料、農具や漁具、生活用品などの民俗資料が展示されている。



かすみがうら市公式マスコットキャラクター

「かすみがうにゃ」

聖なる日にかすみがうら市の大地から贈られた猫のような?妖精。
かすみがうら市の風土をこよなく愛する。

かすみがうら市の概要

かすみがうら市は、筑波山系の山々と霞ヶ浦に囲まれた自然豊かな田園都市。温暖な気候を生かしてさまざまな果物が生産され、霞ヶ浦沿岸では蓮根栽培やシラウオ漁などが盛ん。

●お問い合わせ／かすみがうら市産業経済部観光課 ☎029(897)1111(代) ●企画・制作／読売茨城広告社 ☎029(244)5555

